



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第27号 2013年 5月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
U R L : <http://dreamer-service.org>
E-mail : npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

2013年 スローガン

- 三つの約束
- 一、言葉に真心を、
行いに責任がもてる
チームに育ちます。
 - 二、常に最善の方法を考え、
改善できる
知恵を育てます。
 - 三、信頼される技術と、
寄り添うケアで
笑顔を育みます。

の灯をこれからも
灯し続けていくこ
とが私たちの使命
であると確信して
います。
今後とも皆様方
からのご指導をよ
ろしくお願い申し
上げます。



心の灯を永遠に



理事長 山口 浩志

東日本大震災から2年が過ぎました。私も微力ながら2年前、石巻市の福祉避難所で5日間という短い期間でしたが、災害支援活動に参加させていただきました。体育館で段ボール箱をベッド代わりにして過ごされているお一人おひとりと対話は、今でも深く胸に刻み込まれています。新聞報道などにより、今もなお32万人が避難生活を余儀なくされている住民は今後4年以上はふるさとへ戻れない人が5万人以上にものぼるそうです。

南海トラフ大地震の予測がある徳島県も、全くの他人事ではありませんが、私たちも避難所で暮らされる人たちの苦しみを分かち合い、様々な形での助け合いを続けていくことが大切だと思います。

医療者にとつての患者さん、福祉事業所にとつての利用者さんは、自分の鏡であり、最大の教えの師であると思います。

米国の教育者ウィリアム・ウォード氏は「凡庸な教師は指示をする。いい教師は説明をする。優れた教師は範となる。偉大な教師は心に火をつける。」と説きます。

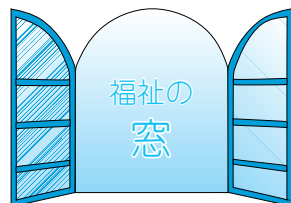
障がいがあっても在宅や施設で暮らされている人たちが、避難所で過ごされる方々の懸命な生き方に心を

地域包括ケアシステムの実現と

住民参加型在宅福祉サービスへの期待

全国社会福祉協議会 地域福祉部長

全国ボランティア・市民活動振興センター所長 佐甲 学



先日開催された厚生労働省の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議では、地域包括ケアシステムの実現に向けて、「互助」を新たに位置づけ、高齢者が主体的に社会活動・地域活動に参加し、自分の人生を豊かにすることが当然であるといった価値観を醸成し、地域でボランティア、NPO、社会福祉法人など様々な主体が生活支援（見守り、配食、外出支援、サロン）に取り組み、地域の力によって、高齢者を支えることを推進するとしています。

地域の支え合いや福祉コミュニティづくりは、高齢者の孤立死や買い物難民等が社会問題化し、さらに、認知症高齢者の増加、単身・夫婦のみ世帯の増加等、支援を必要とする高齢者は増加するなかで、一層求められています。住民が主人公であるような地域福祉のあり方を模索する私たちの立場から、地域ケア会議を住民の福祉活動と専門職との協働の場として広げるなど、地域の支え合いを推進し、支援する地域包括ケアシステムを構築することが益々大事になっています。

住民参加型在宅福祉サービスが地域の様々な生活課題をリアルに把握し、地域全体の課題として住民や様々な関係機関とともに解決につなげ、地域福祉の推進につなげる役割を一層果たすことが期待されます。

先進地に学ぶ

Frontier

オランダ福祉研修

平成24年10月21日〜10月28日の間、オランダ福祉研修ツアーでハーグとアムステルダムを訪ね、高齢者住宅やナーシングホーム、認知症ケア、ホスピスケア、安楽死協会等の様々なタイプの取り組みを学んできました。特にボランティア教育の充実が国の福祉を支えている現実を知り、本物の地域力を知ることができました。

【福祉文化】

オランダは死亡場所として住宅、在宅、病院の選択肢ができていて、ちょうど3割ずつでバランスがとれています。また国の気風として、ボランティアな割り勘主義でお金も労力もみんなを出しあって、一緒に使うという国民性があり、医療・福祉現場でも随所に現れていました。

【幸福とは】

ケアやキュアは生きるための手段にすぎない。やればやるほどお金がかかる。



思い出ミュージアムの一室

【認知症ケア】

それよりも大切なことは、病気になるっても自分を失わない気持ちを持つことと、そのことを支えてくれる家族や仲間がいることが大事なことである。

認知症になっても自分の



南米系デイサービス訪問

【ボランティア教育】

存在を失わないことが大切である。今オランダでは環境型ケアの取り組みがあり、思いでミュージアムや農場デイが実践で成果を出している。

ホスピス病棟では、専門職（看護師・心理士など）とボランティアとのコンビ

ネーションが充実している。ボランティアの役割は、食事づくりや身体的ケア、傾聴、施設管理などがあり、ひとりひとつの役割しか担わず、担当は最期まで代わらないということを徹底している。



ホスピスでの取り組みについて
レクチャーを受ける

協力会員さん 大募集中！

地域の方がより良い生活を送るためのお手伝いをする有償ボランティアです。

やる気のある方ならどなたでも協力会員になることができます。生きがいとして、仲間づくりとして一緒に地域を支えてみませんか。

支える

を訪問させてもらったりする機会を持たせてもらっています。ご利用者の方やご家族と直接お会いしてお話させていただくことで、分かることがたくさんあります。その方にとってよりよい生活をサポートできるように、お一人お一人にとってベストなコーディネートができるように頑張りたいです。現場で学ばせてもらったことは、私にとって宝物です。これからたくさんの方の出会いを大切にしていきます。

NPO コーディネーター

住民参加を活かして

コーディネーター

臼杵 顕子

介護保険等の制度では支えることができない方、また支えきれない方へのサポートである住民参加型在宅福祉サービスのコーディネーターをしています。今までは事務所での業務が多かったんですが、コーディネーターをさせてもらってから、利用者様のお宅を伺わせてもらったり、ひのみね総合療育センター



かせません
が、近藤様
のお宅でも近く
に住むご家族
さんたちとの
連絡を大切に
これからも支
えさせていた
だきます。

近 藤 忠 雄様
サカエ様



「離れている家族も
安心していうのですワ」
(忠雄氏より)



ヘルパーステーションたすけあい

制度規制の厳し
い環境にあつて
も、在宅の現場で
はヘルパーさんた
ちの役割はますま
す重要になってい
ます。紙面を通し
て現場の様子をご
紹介させていただきます。

「みなさんの心づかいが
毎日の喜びです。」
(サカエ氏より)

元国家公務員として勤めて
きた忠雄氏は、今でも奥様と
助けあいながら「一家の主」
として堂々とした暮らしぶり
です。
高齢者世帯を支えていくた
めには、ご家族との連携が欠

スタッフミーティング



定期的に行われるミ
ーティングは現場を大切
にする原点です。

はじめまして



どリーまあサービ
スに就職して、早
や1年が経ちまし
た。今年介護福祉
士資格を取得で
き、これまでに上
に頑張りたいと
思います。皆さま
よろしくお願いま
す。

介護福祉士 関 はるな



ヘルパーステーション たすけあい

管理者 松本 友紀



前管理
者から受
け継いで
早や1年が経とうとしてい
ますが、最初は重責に押し
つぶされそうになりました
が、仲間たちが支えてくれ

チームが自分を
育ててくれています

てここまで
やってこれ
ました。
これから
も笑顔は大
切に明る
い
たいと思
います。み
なさん、
応援よろ
しくお願
いし
ます。
チーム
に育
てい
き

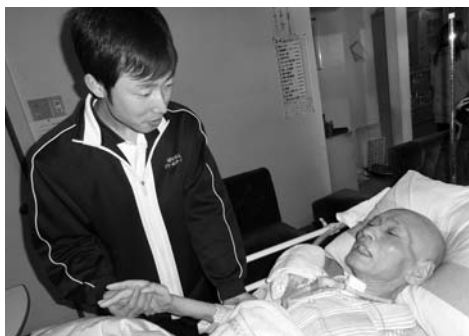


リハビリを通して生活を支える！

理学療法士 岡本 順示

どリーまあ

訪問看護ステーション



懸命にリハビリに励む



自宅での担当者会議

地域包括ケアが叫ばれる中で、訪問看護サービスは地域医療の要とも言われており、ますます重要な立場になります。今回も現場での奮闘ぶりをご紹介します。

訪問看護ステーションには、看護師だけでなく、リハビリ部門で理学療法士や作業療法士たちも活躍しています。

最近入職した岡本順示氏もそのうちの一人です。本人からは、「在宅リハビリは初めての経験ですが、病院勤務と違って、利用者さんの生活の中にかかわらせてもらう仕事なので、毎日が初心」と思って頑張っています。

《柏木宏幸さん》

難病を患ってから病院での入退院を繰り返してきましたが、ご本人の「在宅で暮らしたい」という強い願いから始まり、ご家族や様々な専門職の人達のチームでかわらせていただいております。柏木さんを通して、「願いはかなう！」ということを変えて教えてください。



第4回 どリーまあこどもクリスマスの集い



輝き

平成24年12月9日 於：沖洲コミュニティセンター



四国大学生による「エイサー」

ご家族の方からも、「毎年、ありがとうございます。」「初めて参加したけど、きてよかった。」「など色々な声を聞かせていただき、スタッフ一同「楽しんでもらえてよかった。」

子どもたちの笑顔に感謝

「エイサー」として「次も頑張ろう。」という気持ちになります。沢山の元気、やる気を下さる子ども達の笑顔に感謝、そして、クリスマス会を心待ちにして下さって、参加して下さいご家族にも感謝です。来年もお楽しみに。

看護師 濱崎 薫



癒しのクリスマスメドレーにうっとり😊

今年で4回目の小児クリスマス会です。毎年参加者も増え、みなさんとても楽しみにされています。今回は11組もの参加がありました。目的としては、ご家族同士や子ども同士の交流が深まってもらいたいという願いがあり、毎年数ヶ月前から、スタッフで話し合っ

て計画を立てています。特にこの第4回では四国大学看護学部

の学生さんがボランティア参加していただきました。そのおかげもあり、沖繩の「エイサー」を間近で見ることができ、ご家族、子どもさん達も口笛の音、太鼓の音に興味津々。一緒に踊っている子どもさんもおられました。また、和スマイルさんのクリスマスメドレー演奏は毎年、心癒されています。



みんなで記念写真

お迎え



安全・安心をモットーとした送迎は、デイサービスには欠かせません。

Community

通所

デイサービスセンター夢ハウス

健康チェック



看護師による朝の健康チェックで一日が始まります。

その日のお体の様子をおうかがいしたり、ご相談にものったりもして、みなさんからも頼られる存在になっていきます。

ご高齢になるほどに、外に出かけることは健康のバロメーターのひとつとも言えます。デイサービスを通して、いろいろな人たちと会って会話したり、笑いあうことで「安心」が育まれます。

入浴



お体をご不自由でも、このリフトで安全に入浴ができます。県内でも珍しい設備のひとつです。



お食事&ティータイム



月2回開いている「おやつレク」は人気プログラムのひとつです。みなさんの目が一段と輝く瞬間です。

お誕生祝い



お一人おひとりのお誕生日にみなさんでお祝いさせていただきます。お誕生を迎えるにあたってご自身のお気持ちを語っていただいたりして、最高のセレモニーです。

アクティビティ



特に専門的器具を使わなくても、「ご家庭でもできる体操」を心がけて取り組んでいます。

寄り添う

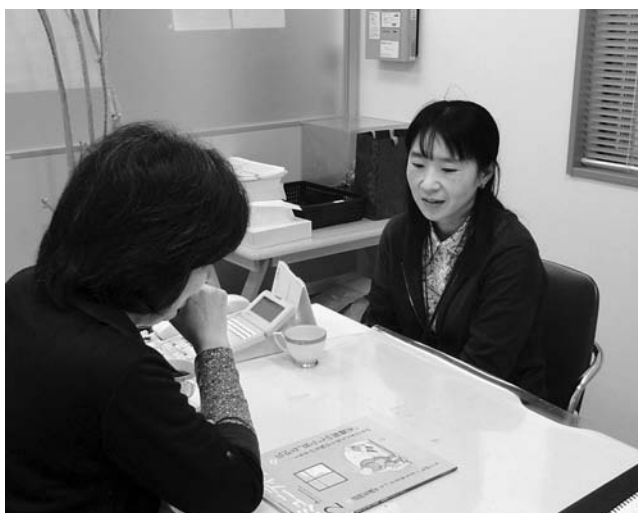
長く東京で暮らされるSさんもそのうちの一人ですが、昨年12月に母親がある病気の告知を受けられ、東京・徳島間を行き来する日々が続いていた。最初は仕事も休まなくてはならないし、パニックになった。そんな時、東京の知り合いから徳島の友人を紹介さ



◇ ○ どりーまあ徳島 ◇

介護支援専門員／看護師

山野亜紀子



「いつも心の支えになつてくれています。」(Sさん)

年離れた両親を地元に残し、子どもたちは県外で暮らされている人たちは、世の中にはたくさんいらっしゃるでしょう。ご両親が何かの時に頼れる存在になれるかどうかは、ケアマネージャーにとって大切な役割です。

それ、その方が今の担当ケアマネージャーである山野さんを紹介された。

母親自身が始めは他人を受け入れてもらえず、心配もしていたが、やがて慣れてくると、今では来てくれるのを待っているようだ。ご家族の立場としても、いつでも聞くとすぐに答えてくれるし、動いてもらえて、本当に心強い存在です。



福島県 鶴が城にて
(写真左 故 米原 務様)

これからも大変でしょうけど、いろんな人のお力になつてあげてください。ご活躍を期待していますヨ。
(妻) 米原 福江

山野ケアマネさんは 心の大きな支えでした。

Memorial
メモリアル

主人の介護が必要になってから亡くなるまで山野CMには3年間お世話になりました。最初介護のことで主治医の先生に相談したところ、「いつでもすぐに駆けつけてくれる人がいいでしょう。」とご紹介で山野さんと知り合いました。主人は49歳の時にマンション経営を始め、それ以来昨年12月に亡くなる約40年間は苦勞の連続でした。それでも主人は元気なころは、私をねぎらつてか、償いのつもりか(笑)、毎年いろんなところへ旅行に連れて行つてもくれたりもしました。

いつも勝気な主人が、闘病に入つてからは、私ばかりを頼つてしまうようになり、困っていたところ、山野さんが私にいつも温かく手を差し伸べてくれました。

ほぼ最期まで自宅で面倒をみれたのもケアマネージャーさんがいてくれたからこそだと心から感謝しております。

体操教室

徳島市元気高齢者づくり事業

不動福祉会館



チームワーク抜群の参加者のみなさん

笑顔で支え合える仲間

少人数ながらも、チームワークは他のどの教室にも負けないバツグンの勢いが

さんがいつも笑顔で迎えてくれるので楽しみに参加できます。」また「最近携帯

あります。

何よりも参加されている方々のイキイキとした笑顔がいつも教室を支えてくれています。

この日参加された山田扶美江さん（90歳）は、「みな

電話でメールを覚えたんですよ！」とおっしゃられ、みなさん感動されていました。これからも元気いっぱいがんばってください。



文六コミュニティセンター

「自宅でもできる体操なので教室以外でも頑張ってますヨ！」



お花見も心の健康体操のひとつですネ！

年一度の体力測定で自己診断

丈六教室では、来所すると看護師による健康チェックが終わるや否や、みなさ

です。参加者の方からは、「体操教室が1週間の中で本当

ん体育館内のウォーキングが始まります。

また季節にちなみ、屋外でのウォーキングも楽しまれており、今年も4月は近くの公園まで散歩で出かけてお花見を楽しまれてそう

に楽しみです！」とか、「年1回の体力測定が目標になってがんばれる。」等のお声をいただきました。

どの地区の教室も、参加者のみなさんの笑顔が本当に素敵でした。

躍動

21世紀型福祉サービスモデル

サービス付き
高齢者向け住宅
と小規模多機能
型居宅介護の複
合施設という新
しいサービスモ
デルだけに、社
会で認知される
までには、まだ
まだ啓発努
力が必要で
す。

まだまだ
知られてない

平成23年12月
にオープンして
以来、目まぐる
しく過ぎた1年
でした。



自宅から通われている K さん

泊まりサービス

9月より毎週2泊3日で

Kさんはほぼ毎日通われ
ておりますが、時々泊まり
利用も兼ねています。ご家
族にお伺いすると、「まだ
施設でお世話になるより在
宅で過ごさせてあげたい
が、こうして日祝日関係な
く、毎日迎えに来てくれて
1日預かってもらえるので
本当にありがたい制度で
す。」と言われます。

通いサービス

サ高住＋小規模多機能ケアの 複合型施設を考える



毎週3泊4日泊まり利用の M さん

訪問＋泊まりサービス

これまではデイサービス
と訪問介護サービスを利用
されていたNさんですが、
小規模多機能サービスに
なつてからは、泊まり利用

ご本人も定期的に通われ
ることで、1週間のメリハ
リがつくし、妻にも少しは
休んでもらいたいという気
持ちもあるのでありがたい
制度です、と有効活用して
いただいています。

の泊まりサービスをご利用
いただいているMさんで
す。



定期的に行われる運営推進会議

運営推進会議

地域密着型サービスであ
る小規模多機能サービスに
は義務づけられている制度

でお世話になる人が自宅に
もきてくれるので、家の中
のことがわかってもらえる
だけでも安心できる、と言
われます。



通い泊まり訪問サービスを受けられる N さん

家族との絆

定期的に音楽関係や舞踊
関係の方々によるボラン
ティア訪問で催し物を企画
していますが、そういう機
会にご家族へも連絡し、一
緒に楽しんでいただいてお
ります。



ボランティア訪問は心のビタミンです。

で、2ヶ月に1度開催させ
ていただいております。地
域民生委員さんや地元老人
会長さん、また学術経験
者、そして徳島市担当の方
や包括支援センター、家族
会代表者等で構成しており
ます。
毎回の白熱する議論は運
営に非常に役立っております。



元気なかけ声で体操する様子

健康講座



アクティビティ講座でハンドマッサージの実践



書道は意外(?)と人気があります



たなばた飾りに願いを込めて

では皆さんのお元気なお声で始まりま
す。互いに気さくに声をかけあわれ、
誰でもが集まりやすい雰囲気其自然と
できています。
これも、「地域で交流しあって、元

鳴門市

小地域 交流 サロン

林崎サロン

「おはよ
うございま
す!」。
毎回サロン

鳴門市で平成23年12月から始まった「林崎サロン」の活動の様子をご紹介します。
最初は参加人数も少なかったのですが、今では地域の人たちのお力で充実したサロンに育っています。

「仲間がいるから 頑張れる!!」

気で楽しく過ごしていきたい。」とい
う皆さんの思いが原動力です。
鳴門市さんや地元地域包括支援セン
ターの人たち、そして隣接する幼稚園
児等の協力もあり、季節行事や外部の
講師を招いて講座を開いたり、楽しい
プログラム満載で、参加者さんたちも
毎回楽しみに参加されているよう
です。

季節 毎の催し物も 楽しみのひとつです



隣接する保育園児との交流は元気の源です

林崎サロンの皆さん、いつも
でもお元気でがんばってください
いね。



幕が上がる 児童デイサービス始動

(まもり、育て、応援します)

児童発達支援

放課後等児童デイサービス

子どもたちの笑顔に
支えられてきた！

この度、児童デイサービス「どリーむキッズ」がオープンいたしました。吸引などの医療処置の必要な子どもたちを、看護師、介護、保育士、リハビリスタッフなどのチームで日中お預かりさせていただく大切なサービスです。

どリーむキッズ

きがるに
つどえて
ずっとおつきあい



1日のスケジュール

- 9:30 登園
健康チェック
アクティビティ・入浴など
- 12:00 昼食、口腔ケア
アクティビティ
- 14:00 帰り支度
- 17:00 降園



設立準備作業の様子

経緯

平成16年に訪問看護ステーション開設以来、小児看護に力を入れてきました。その頃はサービ

県外先進地の取り組みを 学び手ごたえを感じる!!

ス基盤はほとんどなくすべてが手さぐりで取り組んできました。最近ではNICU病児退院支援への担い手としても期待されています。

研鑽

最初は何からしていけばいいかわからず、これまでもスタッフと共に神奈川県や兵庫県、愛媛県などで先駆的に取り組んでいるステーションを訪ねて学び、準備を積み重ねてまいりました。



家族説明会

支え合い

子どもたちへの看護サービスは、ご家族との連携や医療機関の協力なくしては成り立ちません。



開所式

プレイ
ルーム



休憩室



リトミック



入口風景



子供たちと
共に生きる!!

思いが形になる瞬間!!

決断

互いに補いあい、子どもたちを支えられるしくみづくりを今後も続けていく必要があります。重度障害のある子どもさんを日中お預かりするためには、用意周到な準備が必要でしたが、最後は、子どもたちの笑顔と元気な声が私たちの背中を押してくれました。

ホームヘルパーの資格制度が変わります。

介護職員 初任者研修 受講生募集

人生はどちらかです。
勇気をもって挑むか。
棒にふるか。(ヘレン・ケラー)

将来の活躍の場を広げよう!

●研修期間

5月9日(木)～8月6日(火)

●毎週火曜・木曜日…18:30～20:30

●毎週土曜日…10:00～17:00

※7月は月曜・木曜・土曜日になります。

■130時間(※実習時間を含む)

●開催場所

とくしま県民活動プラザ 他

※詳細につきましては、資料にてご確認ください。

●受講対象者

初任者研修の資格取得を希望している方。

●受講料

35,000円(税込)

※テキスト代(6,800円)は、別途ご負担ください。

●募集人数 30名

※定員になり次第締切りとなります。

お問い合わせ
資料請求は
こちらまで



NPO法人 どりーまあサービス

〒770-0866 徳島市末広2丁目1番80号 (担当/臼杵 ますみ)

TEL:088-626-3237 ●FAX:088-611-7035

E-mail npo@dreamer-service.org

挑戦

認知症や終末期ケア等、ますます多様化する高齢者ニーズに対して、厚労省は様々なしくみづくりが進められています。一方では肝心の介護の担い手の充足は不十分なままです。
本講座では、「基本を忠実に!」をモットーとして取り組みます。

受講始まる!



介護職員 初任者研修

昨年度に引き続き、介護の資格養成講座を開催いたします。
平成25年度は、新たに始まった「介護職員初任者研修」資格の講座を開催することになりました。

介護職員初任者研修とは

- ホームヘルパーの資格制度が平成25年度から変わり、介護職員初任者研修資格に一元化されます。
- 初任者研修を修了すると、介護職員基礎研修、ホームヘルパー1級と同じ役割を果たすことができるようになります。

秋 期 講 座

お知らせ

●開講

平成25年10月下旬開講(予定)

●お問い合わせ

どりーまあ末広事業所

(088) 626-3237

(担当: 臼杵 ますみ)

平成25年度秋期講座を予定しております。ご希望の方は、ぜひ事務局までお問い合わせくださいませ。

主なカリキュラム

- 職能の理解
- 介護における尊厳の保持と自立支援
- 介護の基礎
- 介護保険制度理解
- 医療の連携とリハビリテーション
- 医療者総合支援制度及びその他の制度理解
- 老化の理解
- 介護におけるコミュニケーション技術
- 認知症の理解
- こころとからだのしくみと生活援助技術
- 食事に関連したこころとからだのしくみと自立支援
- 快適な居住環境整備と介護
- 介護技術演習



感染症対策の基本

～知っておきたい食中毒のポイント～

— 平成24年 9月26日 —

講師 徳島赤十字病院 感染管理認定看護師 金川 裕美氏

研修報告

9月26日、徳島赤十字病院より、感染管理認定看護師の金川裕美先生をお招きして、「感染症対策の基本」知っておきたい食中毒のポイント」と題して職員研修を行いました。どりーまあサビスの利用者様は、皆様、高齢、小児であったり、病気や障害を抱えておられたり、抵抗力が弱く感染症に対する弱者と言えるでしょう。私達職員が、常に意識して、防御できる感染を可能な限り防御し、感染を拡大しない事が大切です。今回の研修では、その最も基本となる手洗いの方法、手袋やマスクの使い方



について改めて確認する事ができました。また、食中毒については、近年増加の傾向にあり、社会的関心の高いノロウイルスや、O-157を取り上げ、その特徴や発症時の対処の仕方を具体的に教えていただきました。感染症対策は、頭だけでなく、体で覚えて習慣化することが大切です。今回の研修で、学んだ事を日常業務において全員が実践できるように取り組んで行きたいと思います。

ヘルパーステーションたすけあい

介護福祉士 正地 輝美

職

員

研

修

ターミナルケアの実際

～残された時間とともに過ごす～

— 平成24年10月20日 —

講師 かさまつ在宅クリニック 認知訪問看護師 長谷 康子氏

超高齢化社会になりつつある現在、家族のあり方も多様化し、看取り場所も変化している中、個々に違うターミナル期を自分らしく迎え、思いを伝える事が重要視されています。講演の中でも、主役は利用者様とご家族であるという事を強調され、援助者はあくまでも黒子に徹すると話されていました。

その中でも特に思いの実現に向けては、介護・医療・地域が役割分担と協力しながら、ご家族を含めた信頼関係を具体的に築いていく必要があります。現在お世話になっている方々にも、改めて安心して過ごしていただけるケアの提供を進めていかねばならないと認識させていただけるとの講義でした。

小規模多機能夢ガーデン

主任看護師 濱田 礼子

生活リハビリ基礎講座

—平成24年10月11日— 於：岡山オルガホール

小規模多機能夢ガーデン

介護リーダー
久米 純子

法人へ入社しお仕事をしながら介護職員基礎研修資格養成講座を受講させていたできてきました。が、昨年9月に資格を取得いたしました。それから1ヶ月後に本研修に参加させていただきました。

介護とは何か、医療とのかかわり方について、そして携わる介護職員としての奉仕精神や福祉人としての心構え等々、幅広く学べる研修でした。長年の経験のある講師先生からのお話は、福祉の仕事の始めたばかりの自分にとっては大変貴重な時間でした。

講師先生からのお話によると、若い時に得た経験と、年齢と共に得る経験と捉え方が随分と変わってきたとのことでしたが、人と人との関わりの中で、やはり自分に置き換えてみる事、ケアを受ける側からの考えや立場を考える事が大切だと思いました。

また、講師先生ご自身の経験から生み出されたリハビリ用具をたくさん

見せていただきましたが、心と体やその人の今の状況を考えて使用できるような用具でした。そして年齢に応じた用具の開発にも力を注いでおられ、障がいがあっても生活しやすく、人として人生を楽しく送れるようなきめ細かい心くばりがありました。

例えば、足のむくみに
対応できる靴下をみた
時、こういう配慮があつ
てこそ、不快感がなくな
り、心身共に楽になると
いうことを知り、自分自
身にも置き換えて考えら
れるいい機会でした。

講師先生もこれまで何度でも困難な状況になった上で、今もなお介護を天職として頑張っておられるようでした。

最後に講師先生から、つまづいた時でも初心にもどり、ゆっくりあせらず利用者様を理解していく中で、それぞれの人生を学ばせていただくことができるので、目標をもって取り組んでください、と締めくくられました。

外

部

研

修

ADL 向上のための整容講座

～資生堂化粧品療法プログラムに学ぶ～

—平成24年11月1日～2日— 於：資生堂大阪ビル

この度、ADL向上目的の整容講座を受講させていただきました。2日間、15名程の受講生があり、4国からは一人だけの参加で、改めて貴重な経験をさせていただいたことに身の引き締まる思いでした。

初日は「身だしなみとは」等、基本の整容から学びました。髪や顔、服装などから第一印象は6秒で決まるという事で、介護の現場においては、利用者様に対し洗顔、口腔ケア、髪を整える、清潔な衣類に着替える、髭剃り等で印象を良くするのがお手伝いの大切さを学びました。性別に関係なく、身だしなみを整え、お化粧をするという動作が脳に与える効果には、顔や手の感覚を刺激し、五感を刺激、軽運動、快感情、アイデンティティの確認、記憶の想起など、驚くべきものがあります。何故お化粧が大切なのか、それは、気持ちを前向きにし、気持の変化や細かい作業は脳に良い刺激を与え、腕や指の運動になり、更には日々の繰り返しにより、化粧筋を鍛えるという事

です。

主任 西岡奈津代

ここで初めて「化粧筋」という言葉を学びましたが、これは資生堂独自の造語らしく、化粧動作でよく使う筋肉の総称だそうです。三角筋、上腕二頭筋、総指伸筋、浅指屈筋、第一背側骨間筋を指し、肩・肘関節の動きや握力を司る筋肉のことでした。普段、何げなく行っていることがこれ程、身体や心に影響を与えているのだと認識させられました。

その後事業所でお化粧道具を揃えて早速利用者様に試していただきました。最初は遠慮気味だったが、初めは椅子に座りケープをつけた瞬間から、目が輝き、ほんの薄化粧にも関わらず華やかな笑顔になれるのを目のあたりにし、改めてお化粧持つ魅力に驚かされました。

人類誕生以来、現在では身だしなみとして欠くことのできないお化粧について学ばせていただき感謝すると共に、この貴重な体験をまわりの方達にも伝えていきたいと思っています。



とくしま住民参加型 福祉サービス団体連絡会 発足

〔基調講演〕



全国社会福祉協議会
佐甲 亨氏

〔来賓あいさつ〕



県長寿介護課
前課長 志田 敏郎氏

略とくしま住サ連

住み慣れた地域で暮らし続けたいという思いをかなえるために様々な団体やグループなどが住民参加型福祉サービスの担い手として活躍されています。

そこで、より一層地域に根ざした活動が継続できるために、それぞれ団体の独自性や自主性を尊重しながらゆるやかなネットワークが立ち上がりました。



代表幹事 山口 浩志 挨拶

平成24年11月17日 アスティ徳島にて、連絡会が発足いたしました。会場には、約20団体(約70名)の参加者があり、今後地域での福祉活動で団体相互でも助け合っていけるよう話し合いが行われました。

記念講演として、全国社会福祉協議会から佐甲亨同地域福祉副部長による「これからの住民参加型在宅福祉サービスのあり方」という演題での講演をしていただき、参加された方も明日への勇気づけとなりました。

中村順子氏 NPO魂を伝える

とき 平成25年3月23日
ところ アスティとくしま

第1回セミナー

開催

第1回セミナーでは、C・S神戸の中村順子理事長様にお越しいただき、これからの地域のデザインをどう描くかのレクチャーをいただきました。

セミナーには約40名の方々が集まれ、これからの地域をいかにして守っていくか、またそれぞれの地域や団体で抱えている課題についても話し合わせ、今後の展開へ結びつける機会が得られました。

平成24年度
とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会 研修会

この度講演講師として、阪神淡路大震災直後に救援組織を命がけで立ち上げられ、今もなおたすけあいネットワークの大切さを情熱的に発信されておられる NPO 法人 C・S 神戸理事長の中村順子氏をお迎えできることになりました。ぜひご参加ください。

1. とき 平成25年3月23日(土) 13:30~16:30
2. ところ アスティとくしま 3階 第2特別会議室
3. 内容
13:30 ~13:40 開会・オリエンテーション
13:40 ~14:40 講演 「住民参加型在宅福祉サービスの今後の展望」
NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長 中村 順子 氏
14:50 ~16:20 グループ討議 「今後の展望と課題」
16:20 ~16:30 講評
16:30 閉会
4. 対象の方 地域たすけあい活動に参加されている方
地域たすけあい活動を推進されている方 等
5. 参加費 無料





事務局だより

(徳島県介護支援専門員協会) 事務局速報



事務主任

棚野望起子

法人に
とって私
たち事務
局の存在
は、様々
な情報が
集約され
た重要な
場です。

私たちスタッフは「救急隊員精神」をモットーに毎日元氣いっぱいお仕事させていただいております。

これからの地域の皆様のお役にたてられるよう、微力ながらNPO運営に努力していきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願ひします。

事務局担当

鯉淵 勝

今年の3月から協会事務局のお手伝いをさせていただいております。

現職中は、鳴門市役所で勤務し、地域福祉行政にも携わってまいりましたが、専門職の職能団体の事務所ワークは初め

てなので、慣れないことばかりですが、少しでも県内のケアマネージャーのみなさんのお役にたてられるよう頑張りますので、今後ともご指導よろしくお願ひします。

～ふれ愛5ヶ年戦略 2013年～2017年～

プラットフォームプラン

ビジョン ◆3つの柱◆

- 1、住まいの追求
高齢や病気になるっても安心して暮らすことができる居場所づくりを追求する。
- 2、ボランティア教育の可能性
ボランティア教育プログラムでNPO活動の人材育成に努める。
- 3、地域住民の縁側づくりの啓発
地域の社会資源を活用して介護予防運動やサロン活動を実践していく。

行動指針 ◆七つ星戦略◆

- 1、人材育成…人事部設置による研修制度の確立
◎内部研修…法人内年間計画充実
・部内研修及び部門別研修
- 2、地域包括ケアの実践…◎NPO会員増強 ◎サロン活動展開
◎リーダー育成研修 ◎技術研修
- 3、ネットワークの充実…◎合同研修事業
◎通信発行による啓発 ◎小児看護勉強会
- 4、インフォーマル支援の充実…◎ボランティア協力会員増強
◎コーディネーター人材育成 ◎NPO組織運営推進会議
- 5、組織体制強化…◎委員会活動の充実 ◎本部機能の充実
◎ミーティングシステム強化
- 6、障害児支援体制整備
◎NICU病児退院支援が実現できるための人材育成
◎疾患の理解と啓発 ◎他府県の取り組み研究と交流活動
- 7、ターミナルケア体制強化
◎介護の24時間体制確立
◎看取りに関する人材育成…勉強会企画
◎ボランティア養成研修事業
・ボランティアコーディネーター養成研修事業

《平成25年度 どりーまあ職員研修日程表》

		セミナー	事例検討	基礎研修	中堅幹部研修
平成25年	4月	職業倫理 ～プライバシー保護と法令遵守～			幹部リーダー研修 PART ①
	5月	口腔セミナー① 口腔セミナー②		接遇とマナー	
	6月		ヒヤリ・ハット事例 ～事故防止の第一歩～	制度の理解と規律①	
	7月	感染症対策 ～ノロウイルス、インフルエンザ対策～		介護記録の基本	
	8月		退院支援事例 ～職種連携を学ぶ～		
	9月	転倒予防と ADL 訓練 ～整形外科的視点から学ぶ～		個別処遇とチームワーク	
	10月		困難事例 ～チームで乗り越える～		幹部リーダー研修 PART ②
	11月	認知症について ～高次脳機能障害を学ぶ～		制度の理解と規律②	
平成26年	1月		苦情・クレーム事例 ～苦情は宝物～		
	2月	ターミナルケア ～終末期を共に生きる～			
	3月	全体の反省			

平成25年度 委員会構成

～プラットフォームプラン はじめの一歩～

◎委員長 ○副委員長

	介護	看護	居宅	デイ	事務	小規模 サ高住	児童デイ
研修委員会	井上	杉本	○山瀬	西岡	田邊	◎国金	田村
広報委員会		堀	◎福本		白杵	○白川	
感染予防委員会	楠本	桑内	○山野			◎濱田	高橋
リスク管理委員会	関	○濱崎		中村	◎杉本	細川	松本
環境改善委員会	松本	小出		○櫻木	棚野	◎吉崎	
内部監査委員会			◎山口		○白杵		